



新型コロナウイルス感染症 に対するレムデシビルの効果

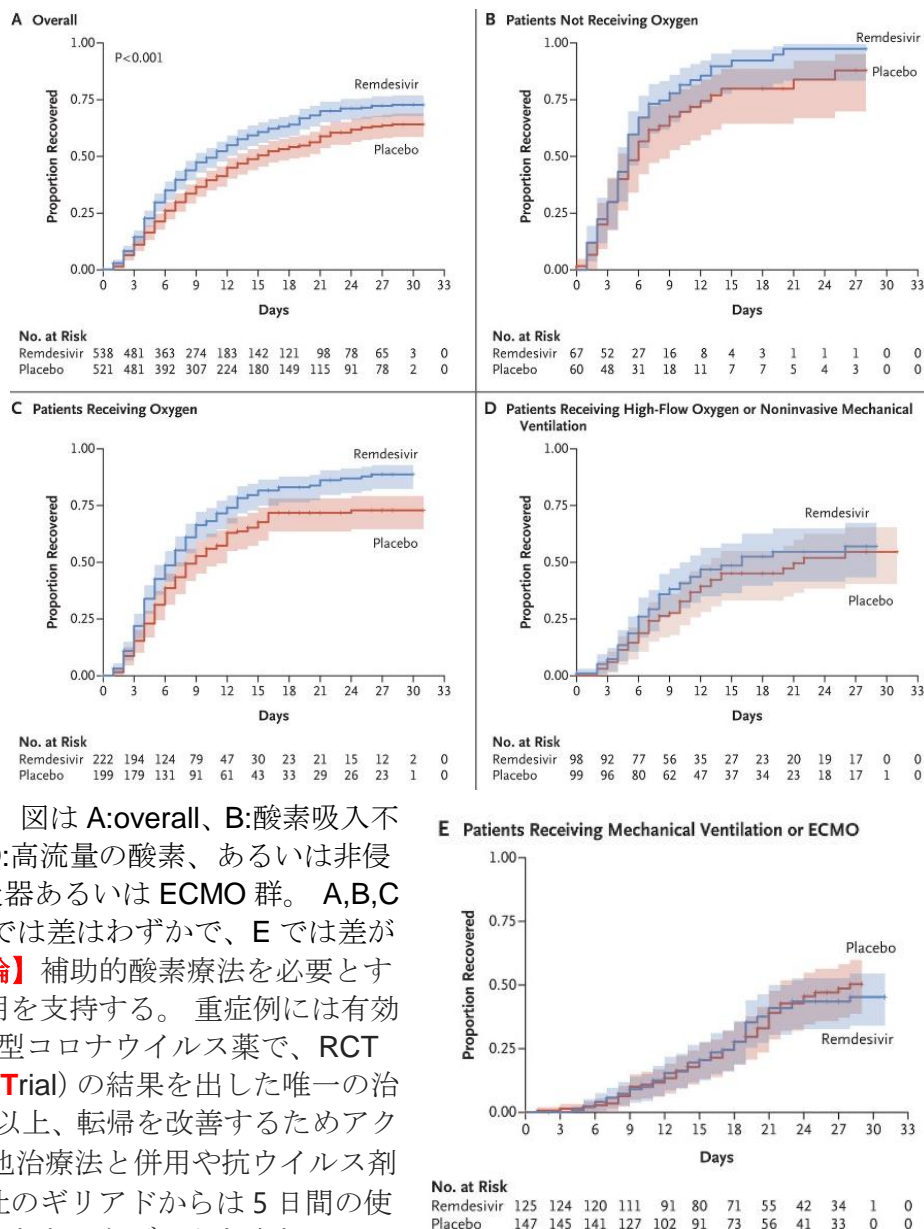
<https://l-hospitalier.github.io>

2020.6

感染対策の基礎知識

#244

【CoVID-19 の治療薬】としてレムデシビルが武漢で使用され有効性が期待されたが、2020/5/22 の New England Journal of Medicine に preliminary report^{*1} が掲載された。First author は JH Beigel で National Institute of Allergy and Infectious Disease の資金による ACTT-1 (Adaptive Covid-19 Treatment Trial Study Group 1)^{*2} に属する全米の医療機関が参加。【方法】プラセボを使ったランダム化二重盲検試験が成人の下部呼吸器症状を伴う Covid-19 感染で入院した患者を対象に行われた。患者はランダムに 1 日目レムデシビル 200 mg 静注、以後 9 日間 100 mg 静注のグループと 10 日間のプラセボ投与群に割り当てられた。暫定的な判定基準は回復までの時間で、退院までの期間（感染制御のための入院を含む）と定義。【結果】1059 名（538 がレムデシビル、521 がプラセボ）についての暫定結果はレムデシビルの中央値 11 日（95% 信頼区間 9~12 日）に対しプラセボ群 15 日（同 13~19 日）。Kaplan-Meier の 14 日間の生存率推定ではレムデシビルの死亡率 7.1% に対しプラセボ 11.9% であった（死亡ハザード比は 0.7、95% 信頼区間 0.47~ 1.04）。重篤な副作用はレムデシビルの 114 /541 例（21.1%）に出現したが、プラセボ群でも 141/522 例（27.0%）であった。貧血、肝、腎機能障害、血糖異常には差がなかった。図は A:overall、B:酸素吸入不要の群、C:酸素吸入群、D:高流量の酸素、あるいは非侵襲的人工呼吸、E:人工呼吸器あるいは ECMO 群。A,B,C では両者に差があるが D では差はわずかで、E では差が無いように見える。【議論】補助的酸素療法を必要とする患者にレムデシビル使用を支持する。重症例には有効性が乏しい？ しかし抗新型コロナウイルス薬で、RCT (Randomized Controlled Trial) の結果を出した唯一の治療薬で現存では最有力。以上、転帰を改善するためアクテムラ（抗 IL-6 薬）など他治療法と併用や抗ウイルス剤の組み合わせか？製薬会社のギリアドからは 5 日間の使用でも有効性に差はなかったというデータも出た。しかし抗ウイルス剤で初めてその有効性が受け入れられたのが帯状疱疹に対するアシクロビルで、インフルに対するオセルタミビルの成功以外には抗 AIDS 薬などでも効果が確実で副作用の少ない抗ウイルス薬は多くはない。



^{*1} <https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMoa2007764> ^{*2} Adaptive COVID-19 Treatment Trial (ACTT) ²